

60078

教科書文庫

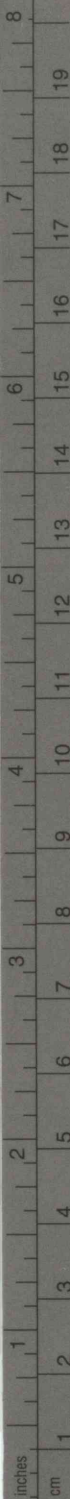
6
760
34-1949
01304 49911



Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

© Kodak, 2007 TM: Kodak



Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



文部省検定済教科書
 財団法人教育図書研究会編修
 教育部
 資料室

1	1
学図	小音403

私たちの音楽

教科書文庫
6
760
34-1949
0130449911



広島大学図書
 0130449911

学校図書株式会社発行

4

中央図書館

四年生のみなさんへ

この本は 美しい歌・おもしろい曲を集めて
じゅんじょよく音楽を学び また楽しむように作
られています。

三年までは 先生の歌にまねて習いましたが
これからは ふを読んで 歌をうたうけいこをし
ましょう。自分の力で 新しい歌を学んでいくと
音楽の力は ぐんぐんどのびていきます。

音楽のけいこは 歌をうたったり 楽器をつか
ったり レコードをきいて そのおもしろさを味
わったり 又 曲や歌詞を作るなどいう べんき
ょうがあるのです。この本はそれらのことも い
ろいろとけいこのできるように くふうしてあり
ますから みなさん 進んでべんきょうして ほ
んとうに音楽の美しさがわかるようになってくだ
さい。

この本で使われる楽器は きめられた楽器でな
くてもかまいません。オルガンや みなさんのま
わりにある 音のでるいろいろのものをかわりに
使ったり かんたんでおもしろい楽器を作って え
んそうしたら どんなにゆかいでしょう。

寄贈

昭和24年10月10日 文部省検定済 小学校音楽科用

教科書文庫

6

760

34-1949

0130449911



私たちの 音楽

4

広島大学図書

0130449911



広島大学図書

0130449911



学校図書株式会社

も く

1	春の小川.....	6
2	春の散歩.....	10
3	せいくらべ.....	12
4	ゴー ストップ.....	16
5	はつ なつ.....	18
6	子どもの村.....	20
7	ほ た る.....	24
8	ボートの歌.....	26
9	ジープが走る.....	27
10	こんにちは.....	31
11	ねんねんころりよ.....	32
12	エービーシーの歌.....	34
13	ほうい ほうい.....	36

ろ く

14	や ぎ.....	38
15	小 ぎ く.....	40
16	さ る は し.....	42
17	き た え る 足.....	44
18	も ち つ き.....	46
19	村のかじや.....	48
20	か け 足.....	52
21	子 も り 歌.....	54
22	あられのおどり.....	58
23	雪 ど け.....	60
24	赤いも 白いも.....	61
25	のどかな春.....	62

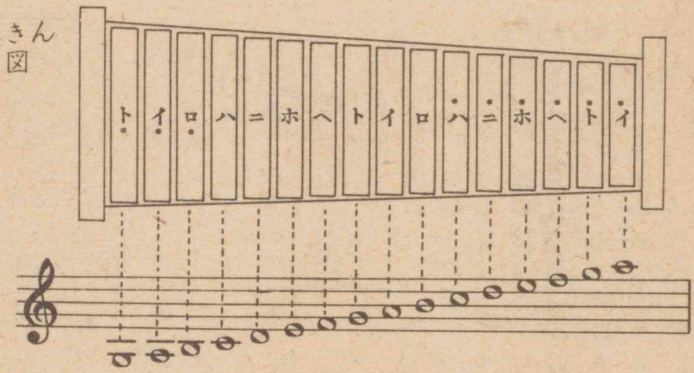




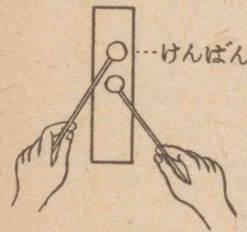
笛ふきの少年

木きんのひき方

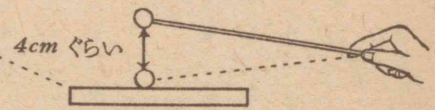
1 木きんの図



2 ばちのもち方



3 けんばんを打つときのばちと手の位



4 木きんの打ち方

- イ ばちは おやゆびと人さしゆびの二本で しっかりとぎり ほかのゆびは かるくまげただけでよらしい。
- ロ けんばんを打つときは 手くびを動かして打ち 打ったあとは ばちの先の玉がすぐはねかえるように 打つのがよらしい。
- ハ 両手で打つときは 拍子やリズムの強いところを 右手で打つのがふつうです。
- ニ 右手と左手は 右左 右左と かわるがわる使うのがふつうですが そうでないときもあります。右左のしるしをよく見て、「春の小川」をれんしゅうしましう。

春の小川

たのしく ♩ = 104 初等科音楽より

mf

一 はーるの おがわは サラサラ いくよ
 二 はーるの おがわは サラサラ いくよ

きえーし の すみれ や れんげ の はな に
 きえーび や めだ が や こぶ な の む な に

mp

すきーが た や さ し く い ろ う つ く し く
 きえーよ う も や い ち に ち ひ な た て お お しょ ぎ

mf

さーい て い る ね と さ さ や き な が ら
 あーそ べ あ そ べ と さ さ や き な が ら

(注) 木きんの右手と左手のうち方。 ○右手 ●左手

口をよくあけて やわらかな声で歌いましょう。

カスタネットで 次のふしのリズムを打ちましょう。

カステネットのリズム譜

春の小川

一、春の小川は サラサラいくよ。

きしのすみれや れんげの花に、

すがたやさしく 色うつくしく

さいているねと ささやきながら。

二、春の小川は サラサラいくよ。

えびや めだかや 小ぶなのむれに、

きょうも一日 ひなたでおよぎ

あそべ あそべと ささやきながら。



三番のかしのつづきを
 考えましょう。

春の小川は

サラサラいくよ。

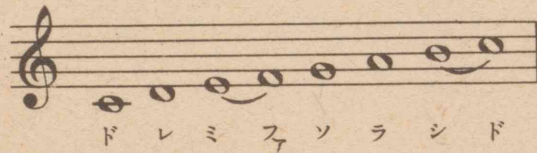
むぎのはたけや

ひばりの歌は。

ハ長調



これを歌うときは 音名で歌うこともありますが ふつう
ドレミファソラシド と よんで歌います。
ハ長調では 次のようによみます。



これを階名とよみます。
ミとファの間と シとドの間とは ほかのもの(たとえばドと
レ)とくらべるとせまいのです。 歌いくらべましょう。
ハ長調の音階は ピアノやオルガンでは 上の図のように
白いけんばんだけ使います。
ピアノやオルガンで ハ長調の音階をひいてみましょう。



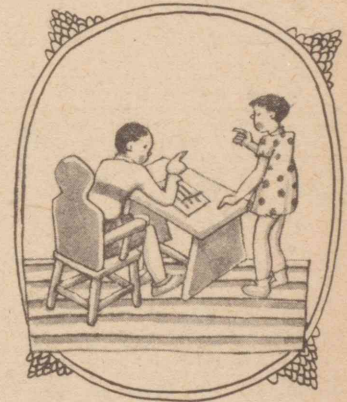
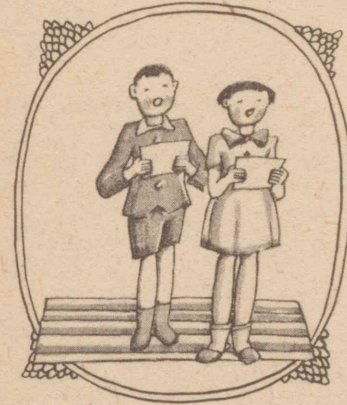
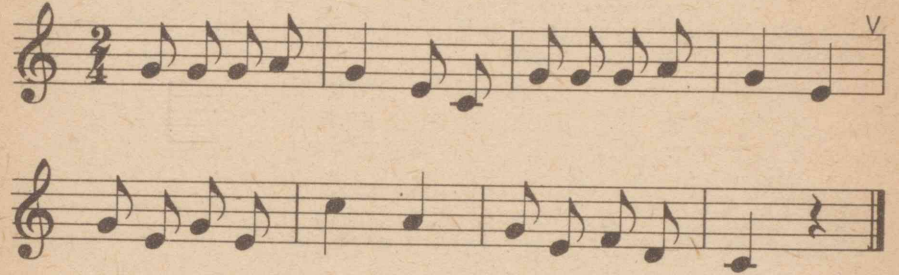
ハ長調のふのけいこをする
ときは はじめにドミソドを
よくおぼえてから ほかの
ものをおぼえましょう。



次のふしを 階名で歌いましょう。

またハミングや マ モ メなどで歌いましょう。

歌詞をつけたり 楽器でひくことも おもしろいことです。



はじめのふしを 先生に歌っていただいて あ
とのふしを みなさんで作って歌いましょう。

春の散歩

作詞 町田有史
作曲 益子九郎

軽快に ♩=104
mf

一 そよふく かぜに かげろ うもえて
二 くつおと かるく のみちを いけば

ひばりの うたが そらから まねく
つかれをしらぬ たのしい ころ

いこうよ はるの やわつち ふんで
うれしい はるの くちぶえ ふけば

わかくさ におう はなさく のべに
ひももの むらが かなたにかすむ

のぼすしるし

小節 小節 小節 小節

ト音記号 調子記号 拍子記号 加線 じゅう線 なくじゅう線

春の散歩

一、そよ吹く風に かげろ うもえて、
ひばりの歌が 空からまねく。
行こうよ春の やわ土ふんで、
若草におう 花咲く野べに。

二、くつ音軽く 野道を行けば、
つかれを知らぬ たのしい心。
うれしい春の 口ぶえ吹けば、
ひももの村が かなたにかすむ。

強弱のしるし

pp (ピアニシモ)

p (ピアノ)

mp (メゾ・ピアノ)

mf (メゾ・フォルテ)

f (フォルテ)

ff (フォルティシモ)

もつとも弱く

弱く

中くらい弱く

中くらい強く

強く

もつとも強く

(やわらかに)

(強く)

曲は ふしの動きや歌詞によって、強くしたり弱くしたりするので、おもしろくなります。

だんだん強く だんだん強く歌って 又 だん
だんだん弱く だん弱くなる

次の音ぶを アで歌いましょう。

pp *p* *mp* *p* *pp*

ア

せいくらべ

作詞 海野 厚
作曲 中山晋平

たのしく ♩ = 96

ナダ
トライアングル
カステネット
(タンブリン)
小だいこ
大だいこ

うた

ピアノ

mf

一はしらの きーずは おととしの
二はしらにもたれりや すぐみえる

mf

低い音をあまり強く歌わないようにしましょう。

ご がつ いつかの せいくらべ
と おい おやまも せいくらべ

ちまき たべたべ にいさんが
くものうえまで かおだして

はか っ て くれ た せい の た け
て ん で に せい の び し て い て も

(タンプリン 小だいこ)

ま の う くら べ り や なん の こー と
く も の ぼう し を ぬ い で さー え

や っ と は お り の ひ も の た ー け
い ち は や っ ぱ り ふ じ の や ー ま

ふしを木きんでひきましょう。

せいくらべ

一、 柱のきずは おととしの
五月五日の せいくらべ、
ちまきたべたべ にいさんが
はかってくれた せいのため、
きのうくらべりや なんのこと
やっとはおりの ひものたけ。

二、 柱にもたれりや すぐ見える
遠いお山も せいくらべ、
雲の上まで かお出して
てんでにせいのび していても
雲のぼうしを ぬいでさえ
一はやっぱり ふじの山。



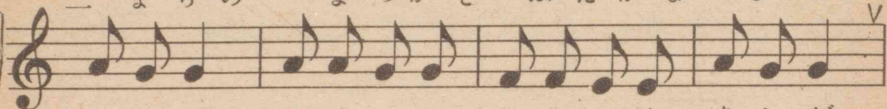
ゴー スト ッ プ

作詞 栗原一登
作曲 池 譲

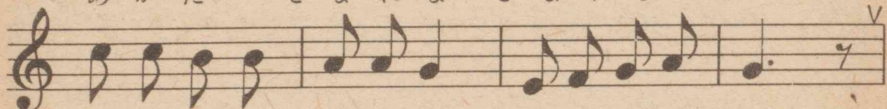
軽快に ♩ = 100
mp



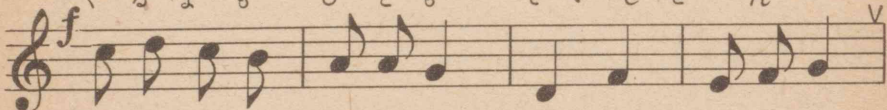
二 まちの よつかど ふえがなる



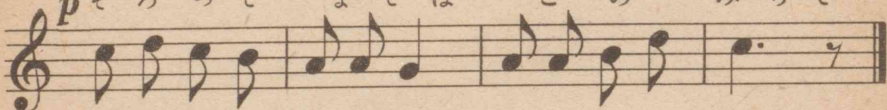
あかだ とまれよ とまれよ あかだ



くるまも ひとも ていしせん



そろって まてば この みちで

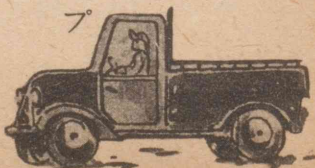


わたるうも ポチも とま っ て る

一、 まちのよつかど ふえがなる。
青だ そらいけ そらいけ 青だ。
車も 人も 今のうち、
いそいでわたれ この道を。
若葉も風に ふか れてる。

二、 まちのよつかど ふえがなる。
赤だ とまれよ、とまれよ 赤だ。
車も 人も ていしせん、
そろってまてば この道で
たるうも ポチも とま っ て る。

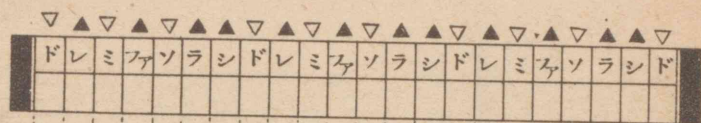
ゴー スト ッ プ



ハモニカのふき方

1 ハモニカの音のならべかた

イ



ロ

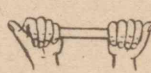
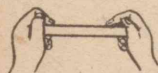


- イ は音が正しくならんでいる べんりなハモニカです。
- ロ は今までのハモニカで 音のならび方は正しくありませんが ふき・すいが一つおきにならんでいるので べんりです。
- ▽ は ぶく音 (ドミソ) ▲ は すう音 (レファラシ)

2 ハモニカのふきかた

イ もちかた 音の高い方を
右手の方にしてもちます。

ロ くわえかた



よいもち方 わるいもち方

3 ハモニカをふく時 気をつけること

- イ いきは はじめのうちはかるくふいたり すったりして音をだしましょう。
- ロ ハモニカは 左や右にすべらせて ぶくのです。かおを動かしてはなりません。
- ハ 一つ一つの音で ロをバクバクさせるのは わるいふき方です。

はつなつ

作詞 深尾須磨子
作曲 ドイツ曲

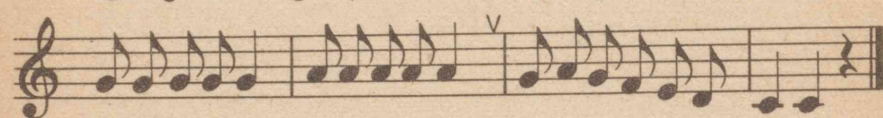
あかるく ♩ = 126



一 おどるよはつなつ わかばがもえるよ
二 おどるよおどるよ みんなでおどるよ



みどりのかぜがながれるよ
てをとる あしをたかくあげ



だいすきな はつなつだ みんなでおどるよ
あおくさのおかのうえ みんなでおどるよ

上のふをハモニカでふいてみましょう。又カスタネットや
タンブリンなどをつかって リズムを打ちましょう。

はつなつ

一、 おどるよ はつなつ
わかばがもえるよ。
みどりの風がながれるよ。
だいすきな はつなつだ、
みんなでおどるよ。

二、 おどるよ おどるよ
みんなでおどるよ。
手をとり、足をたかくあげ
あお草の岡の上
みんなでおどるよ。

和音のれんしゅう (一)

ハ 長調

1 ドミノの和音



2 フェラドの和音

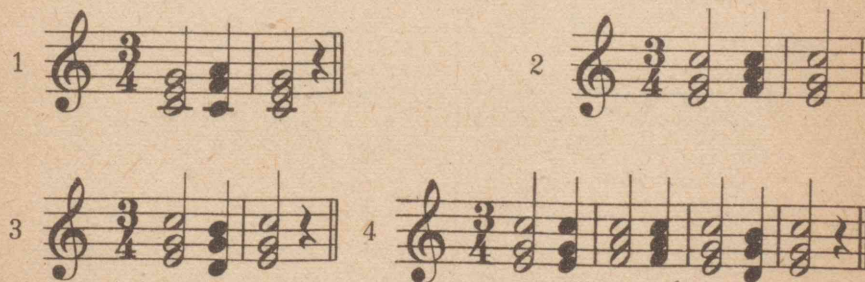


3 ソシレの和音



上の三つずつの音は よく合ってひびきます。
これをピアノやオルガンでひいたり 歌ったりしてみましょう。

これらの和音をいろいろくみ合わせてみましょう。



これらの和音を歌ったり ひいたりしてみましょう。

上のくみ合わせを 書いてみましょう。じゅうせんの書き
方に気をつけてください。拍子記号は 曲のはじめに 一つ
だけ書けばよいです。

子どもの村

作詞 北原白秋
作曲 信時潔

あかるく ♩ = 120

mp

一 こどもの むらは こどもで つくろ
二 こどもの むらは かきねは よそよ

mf 合唱

みんなで つくろ あかやね こやね
ほんとうによそよ くさばな やさい

mp *f* 合唱

ちらちらーさせて みんなで すもうよ
あっちこっちーうえて すずかぜ こかぜ

子どもの村

一、子どもの村は 子どもで作ろ、
みんなで作ろ、赤やね 小やね、
ちらちらさせて、みんなですもうよ。

二、子どもの村は かきねはよそよ、
ほんとうによそよ、草花 やさい、
あっちこっちうえて、すず風 こ風。

三、子どもの村は 子どもでまもら、
みんなでもまもら、てんでのしごと、
てんでにわけて、みんなではげもう。

音階を歌いましょう。

次の曲をやわらかな声で合唱しましょう。

音ぶと休ふ

音 ぶ

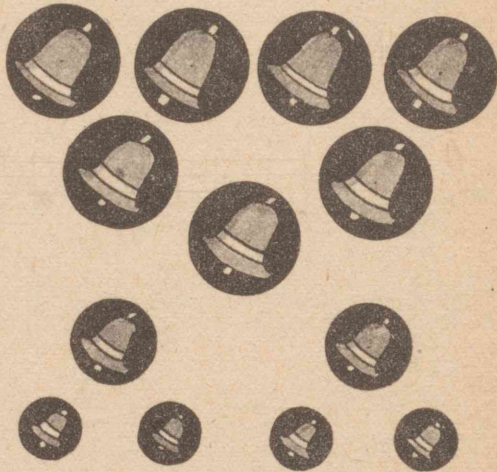
全音 ぶ

二分音 ぶ

四分音 ぶ

八分音 ぶ

十六分音 ぶ



休 ぶ

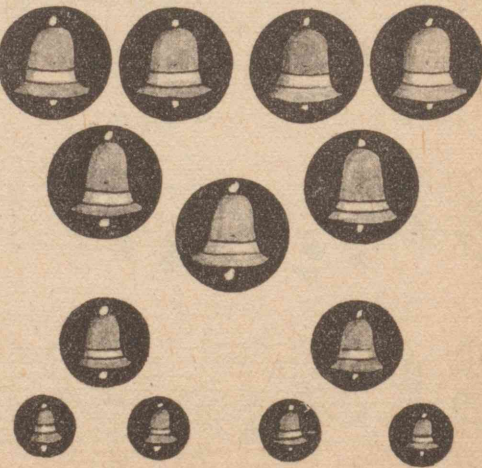
全休 ぶ

二分休 ぶ

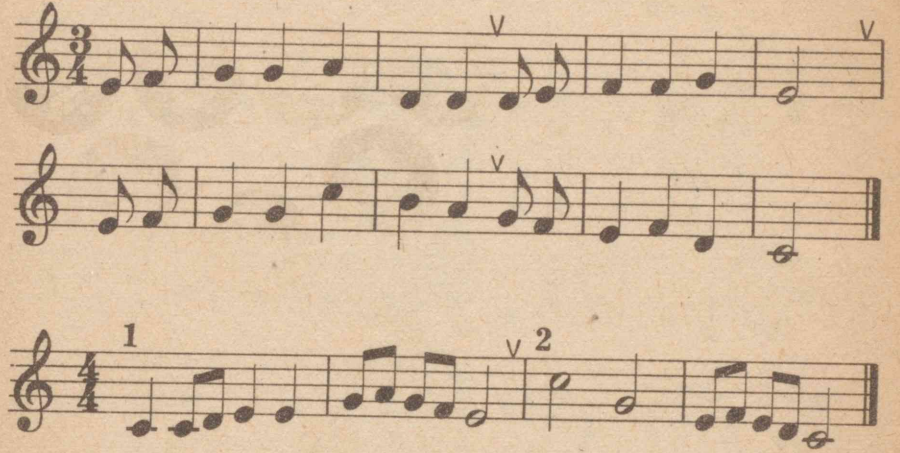
四分休 ぶ

八分休 ぶ

十六分休 ぶ



次のふしを階名で歌いましょう。歌詞をつけたり
木きんやハモニカで えんそうしましょう。



次の歌詞のはじめを 先生に歌っていただいて あとをみなさんで
作って歌いましょう。



次のふしのつづきを 作りましょう。そして みんなで
歌いましょう。



ほ たる

作詞 不 明
作曲 下 総 皖 一
新訂 尋常 小学 唱歌

やさしく $\text{♩} = 80$
mf

一 ほたるの やどは かわばた やなぎ
二 かわかせ そよぐ やなぎも そよぐ

p

やなぎ おぼろに ゆうやみ よせて
そよぐ やなぎに ほたるが ゆれて

mf

かわの めだかが ゆめみる ころは
やまの みかづき かくれる ころは

mf

ほ ほ ほたるが ひをと もす
ほ ほ ほたるが とんで てる

強弱をよくつけて じょうずに歌いましょう。



一、ほたるのやどは 川ばたやなぎ、
やなぎおぼろに タやみよせて、
川のめだかが ゆめみるころは、
ほ、ほ、ほたるが ひをともす。

二、川風そよぐ やなぎもそよぐ、
そよぐやなぎに ほたるがゆれて、
山のみか月 かくれるころは、
ほ、ほ、ほたるが とんでくる。

拍 子

拍子には 二拍子 三拍子 四拍子 六拍子があります。

二拍子



三拍子



四拍子



六拍子



次のふしは何拍子ですか。拍子のしるしを入れましょう。

Musical staff with notes.

Musical staff with notes.

Musical staff with notes.

八分音符を一つちにかぞえて 次のふしのリズムを ったり 歌ったり しましょう。この曲は 何拍子ですか。拍子記号を入れましょう。

Musical staff with notes and rests.

ボートの歌

(四部輪唱)

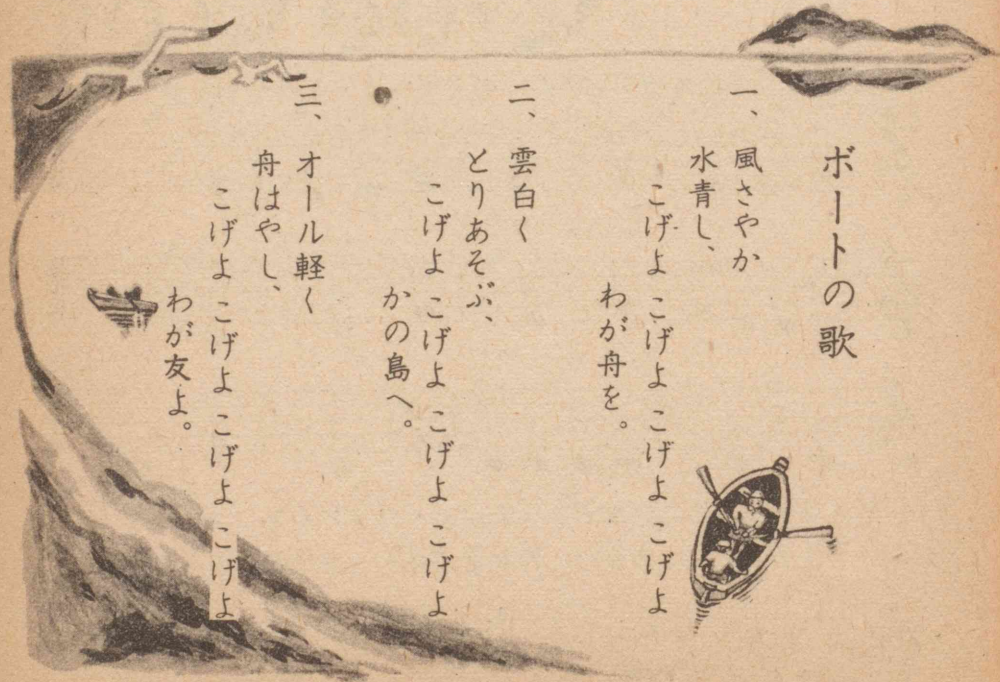
作詞 川本久雄
作曲 イギリス曲

さわやかに ♩ = 112
1 *mp*

1 か ぜ さ や か み ず あ お し
2 く も し ろ く と り あ そ ぶ
3 オール かるく ふねは や し

mf 3 4

こげよ こげよ こげよ こげよ わがふねを
こげよ こげよ こげよ こげよ かのしまへ
こげよ こげよ こげよ こげよ わがともよ



ジープが走る

作詞 青木幹勇
作曲 中田一次

軽快に ♩ = 120
mf

1 は し る は し る ジ ー プ が は し る
2 は し れ ジ ー プ ぼ く ら は い く よ

な み き の み ち を い ち ょ う の み ち を
な み き の み ち を ポ プ ラ の み ち を

か ぜ と い っ し ゃ に ジ ー プ が は し る
み ん な で い っ し ゃ に う た っ て い く よ

ハ ロー ハ ロー ラ ラ ラ ラ ラ
ハ ロー ハ ロー ラ ラ ラ ラ ラ

ジープが走る

一、走る、走る、
ジープが走る。
なみきのみちを
いちょうのみちを
風と一しよに
ジープが走る。
ハロー、ハロー、
ララー、ララー、
ララー、

二、走れ、走れ、
ぼくらはいくよ。
なみきのみちを、
ポプラのみちを、
みんなで一しよに
うたって、
ハロー、ハロー、
ララー、ララー、
ララー、

♪ 音ぶの上又は下に・があるときは短かく切って歌います。
(スタカート)

ジープが走る

♩ = 120

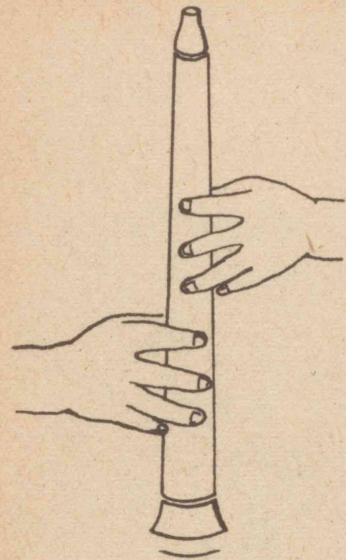
ハモニカ
木きん

トライアングル
カスタネット

タンブリン
大だいこ
シンバル

二だん目と三だん目のハ小節は みなさんで かんがえて
ごらん下さい。どこへ どんな楽器を使ったらよいか。
マーチの気もちがでるように 元気のある曲にしてください。
ふしは ハモニカや木きんのかわりに バイオリンやピアノ
やオルガンを使ってもよいと思います。

笛のふき方



1 笛のもち方と いきのいれ方

- イ 図のように左手を上にし 右手を下にして持ちます。
- ロ 両手のおや指は 後から笛をささえます。
- ハ 右手の小指は 穴を全部あけたときのささえにします。
- ニ 歌口は くちびるに軽くあてて いきをかるくふき入れます。

- ホ 高い方の音を出すには くちびるに力を入れて きつくふきます。
- ヘ 指でしっかり穴をふさいでないと 音が出ません。
- ヘ ぶくとき トウというようなきもちで 口をすこしあけます。

2 れんしゅうのじゅんじょ

- イ ハ長調のソの音からはじめます。
- ロ 次に ソラシド ソファミレドを れんしゅうしましょう。
- ハ ハ長調の曲がふけるようになったら ヘ長調の曲を れんしゅうしましょう。

管楽器のえんそう

トーネット



よこ笛



たて笛



かんいクラリネット



こんにちは

(四部輪唱)

作詞 深尾須磨子
作曲 外国曲

さわやかに ♩ = 76
1 mp

二
三

3 mf

4

一
二
三

み
の
り
の
あ
き
だ
よ

た
の
し
い
あ
き
だ

三
二
一

三、こんにちは、こんにちは、
ずずめさん。
こんにちは、こんにちは、
どんぼさん。
みのりの秋だよ、
楽しい秋だ。

二、こんにちは、こんにちは、
のぎくさん。
こんにちは、こんにちは、
すすきさん。
みのりの秋だよ、
楽しい秋だ。

一、こんにちは、こんにちは、
ひよこさん。
こんにちは、こんにちは、
こやぎさん。
みのりの秋だよ、
楽しい秋だ。

エー・ビー・シーの歌

作詞 不明
作曲 フランス民謡

たのしく ♩ = 80

mf

A B C D E F G
エー ビー シー デー イー エフ ジー
た の し い う た の

H I J K L M N
エイチ アイ ジェー ケー エル エム エヌ
お け い こ エー ビー シー

mp

O P Q R S T U
オー ピー キュー アー エス テー ユー

V W and X Y Z
ブイ ダブル ユー アンド エックス ワイ ゼット

ふしを笛でふきましょう。(へ長調のファの音のだしかたをもうどしらべてみましょう。) *D.C.*

たのしいうたの
おけいこ
エー・ビー・シー

エックス・ワイ・ゼット
アンド
ブイ・ダブルユー・
エス・テー・ユー・
オー・ピー・キュー・アー・
エル・エム・エヌ・
エイチ・アイ・ジェー・ケー・
イー・エフ・ジー・
エー・ビー・シー・デー・

エー・ビー・シーの歌

次のふしをハミングでうたって エービーシーの歌と合わせてみましょう。

mp

フム — — — フム — — —
フム — — — フム — — —

D.C.

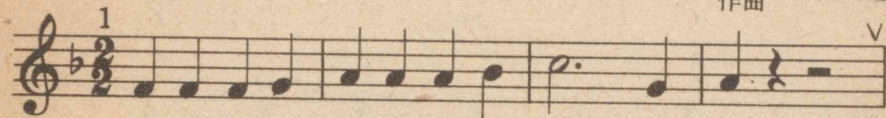
D.C. のしるしがあると、はじめからもうど歌って \parallel のところで終わります。

ほうい ほうい

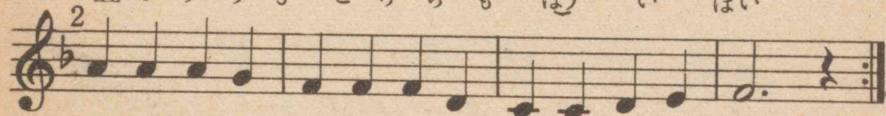
(二部輪唱)

作詞 平岡均之
作曲

あかるく ♩ = 88



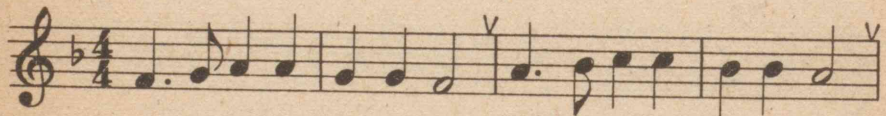
一むこうのおやまで ほうい ほうい
二こちらのたんぼで ほうい ほうい
三おやまでよぶのは ほうい ほうい
四たんぼでよぶのは ほうい ほうい
五あちらもこちらも ほうい ほうい



だれだか しきりに よんてい る
やっぱり だれだか よんてい る
こうまを あつめてい るのてし^しょう
いたずら すずめを おうのてし^しょう
かーわり ばんこに よんてい る

次のふしを歌いましょう。

歌詞をつけて歌いましょう。

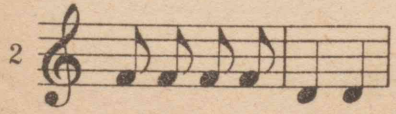


一、むこうのお山で ほうい ほうい、
だれだかしきりに よんてい る。
二、こちらのたんぼで ほうい ほうい、
やっぱりだれだか よんてい る。
三、お山でよぶのは ほうい ほうい、
小馬をあつめてい るのでし^しょう。
四、たんぼでよぶのは ほうい ほうい、
いたずらすずめを おうのでし^しょう。
五、あちらも こちらも ほうい ほうい、
かわりばんこに よんてい る。 ほうい、

ほうい ほうい

次の四つのふしをくみ合わすと まどまった曲になります。

どのじゃんじょにならべたらよいでしょう。



でき上ったら、拍子記号を入れてください。
曲のおわりは、ふくじゅう線で書きます。

やぎ (二部輪唱)

かわいらしく ♩ = 100

作詞 村野四郎
作曲 外国曲

1 *mp*

一 こ や ま の あ ち ら で
二 お が わ の こ ち ら で
三 ひ の く れ く さ み ち

2

こ や ぎ の お か あ さん
か わ ら い い お か や ぎ が
な ら ん て お か え る が よ

3 *mf*

めえ めえ めえ
めえ めえ めえ
めえ めえ めえ

よ ん だ ー る
な い だ ー る
か え る よ

三、ひのくれ くさみち
ならんでかえるよ
めえめえ かえるよ。

二、小川のこちらで
かわいいこやぎが
めえめえ ないてる。

一、小山のあちらで
こやぎのおかあさん
めえめえ よんてる。

やぎ

次のふしを歌いましょう。

和音のれんしゅう (二)

ハ長調

ハ長調と同じように れんしゅうしましょう。

1 ドミソの和音

イ

2 ファラドの和音

イ

3 ソシレの和音

イ

くみ合わせ

1

2

3

4

この外のくみ合わせも作って歌ってみましょう。

上のくみ合わせを 書いてみましょう。じゅう線の書き方に気をつけてください。拍子記号は 曲のはじめに 一つだけ書けばよいのです。

小 ぎ く

作詞 田中豊太郎
作曲 ドイツ曲

あいらしく ♩ = 132



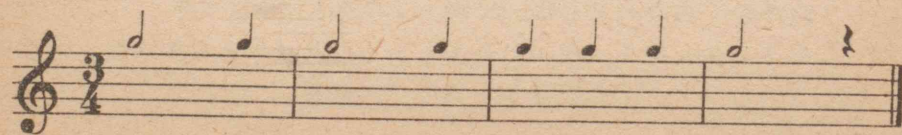
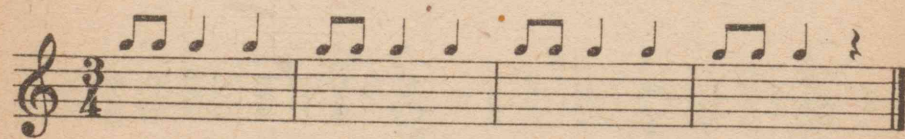
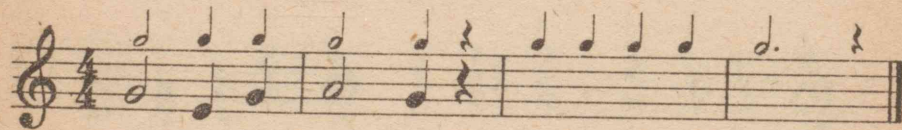
一 あか—しろ み—だ—れて か—が—やく ひ—か—りに
二 あか—るい あ—お—ぞら そよ—ふく こ—か—ぜに



いろとり どり—の か わ い い こぎ—く
か お り も ゆ か—しい か き ね の こぎ—く

この曲は 何の音 (階名) ではじまって 何の音でおわり
ますか。今までならった曲の はじめの音とおわりの音を
しらべましょう。

次のリズムで ふしを作しましょう。



二、

あかるい あおぞら
そよふくこかぜに、
かおりもゆかしい
かきねの小ぎく。

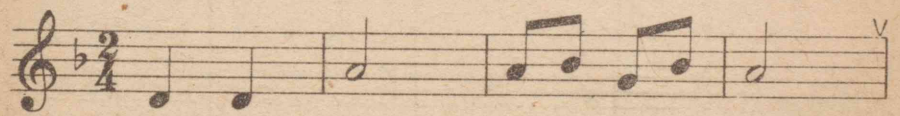
一、
あかしろみだれて
かがやくひかりに、
いろとりどりの
かわいい小ぎく。

小 ぎ く

二部の曲をやわらかな声で合唱しましょう。



次のふしを歌いましょう。それからことばをつけましょう。



さるはし

おもしろく ♩ = 116

作詞 藪田 義雄
作曲 アメリカ曲
編曲 益子 九郎

笛 (ハミンク) (口笛)

たいこ

mf

一 ゆ ら ゆ ら そらのう え
二 ゆ すれ よ きのえだ を

や ま ざ る おお ぜ い て も
ゆう や け だ おど の や ま

高い音は とくに のどに力をいれなくて歌いましょう。
この曲の はじめの音とおわりの音を しらべましょう。

mp

mp

mp

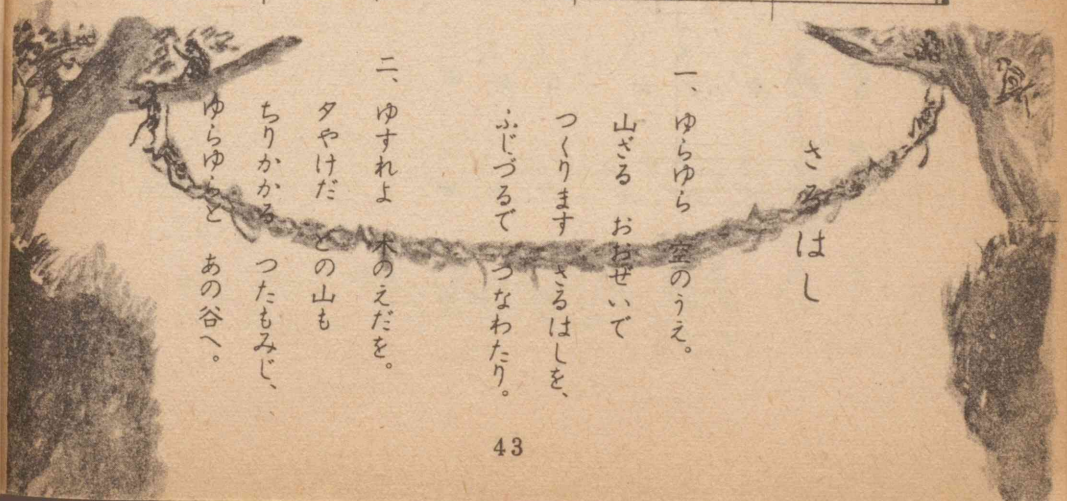
つ くり か ま ー す さ る は し を
ち り か か ー する さ つ た も し み

p

p

p

ふ ゆ じ ら ぶ る ー て つ な の わ た に り へ
ゆ け だ の 山 も つ な わ た り



さるはし

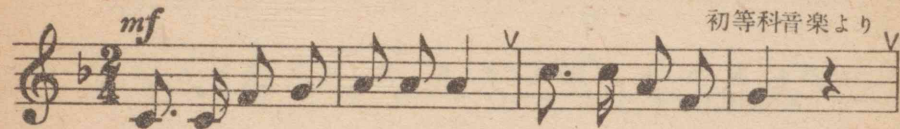
一、ゆらゆら 空のうえ。
山さる おおせいで
つくります さるはしを、
ふじづるで つなわたり。

二、ゆすれよ 木のえだを。
タやけた この山も
ちりかかる つたもみじ、
ゆらゆらと あの谷へ。

きたえる足

作詞 片桐顯智
作曲 成田爲三
初等科音楽より

軽快に ♩ = 120



一 おおぞらはれて ふかみどり
二 みおちひとすじに ふしもひかり



こころはひとつ ひきはうららむ
こころはおどる ひきははずむ



あしなみそろえ ぐんぐんあるけ
あしどりかろく ぐんぐんあるけ



みんなげんきて きたえる あしだ
みんなげんきて きたえる あしだ



1と2のリズムのちが
いをおぼえましょう。

3と4のリズムを1と
2とくらべましょう。

きたえる足

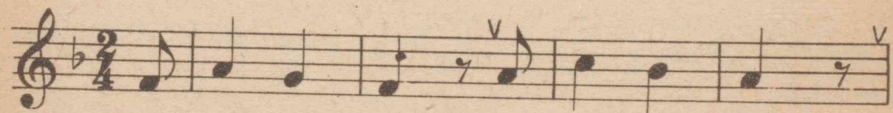
一、大空はれて ふかみどり、
心はひとつ 日はうらら
足なみそろえ
みんな元気で ぐんぐんあるけ。
きたえる足だ。

二、道ひとすじに しも光り、
心はおどる 気はずむ。
足どりかるく ぐんぐんあるけ。
みんな元気で
きたえる足だ。

次のふしを階名で歌いましょう。歌詞をつけて歌ったり
いろいろな楽器でえんそうをしてみましょう。



次のふしを階名で歌いましょう。



村のかじや

軽快に ♩ = 96

四年生の音楽より

木きん

トライアングル
カスタネット

タンブリン
大だいこ

ピアノ

mf

二 しばしも やすま ず つちうつ ひびき
二 あるじは な だかい は たらき も のよ

とびちる ひばなよ は し る ゆ だーま
は や お き は や ね の や ま い し らーず

ふ いーごの か ぜーさ え い き を も つーがーず
な がーねん き たーえ た じ ま ん の うーでーて

mf f

しごとに せいだす むらの かじや
うちだす すきくわ こころ こもーる

mf f

村のかじや

一、しばしやすまず つちうつひびき。
とびちる火花よ はしる湯玉。
ふいごの風さえ いきをもつがず、
しごとにせいだす 村のかじや。

二、あるじはなだかい はたらき者よ。
早おき早ねの やまい知らず。
なが年きたえた じまんのうでで、
うちだすすきくわ 心こもる。

ハイドン

(1732 - 1809)



オーストリアに生まれた名高い音楽家です。幼い時から音楽をたいそう好んでいました。たいそう苦勞して音楽を学び、のちに ある貴族のオーケストラのしき者となり たくさん曲を作りました。かいかつな性質でしたから、多くの人からパパ・ハイドンとたたえられていまし

た。ベートーベンもハイドンから習ったことがありました。ハイドンは 子どもがたいそう好きでした。次の曲の中では おもちゃの楽器もついています。

第一楽章 おもちゃの交響曲

第一楽章 ♩=120

f tr.

後略

第二楽章 ♩=96

(カッコ笛)

f p tr.

(ラッパ)

後略

第三楽章 ♩.=72

後略

かけ足

元気よく ♩ = 80

作詞 藪田義雄
作曲 渡辺浦人

一 二 三 一 二 三 一 二 三
 き た か ぜ ほいほい ま け る な ほいほい
 き た た か ぜ ほいほい ま な や ら ん な ほいほい
 た た か ぜ ほいほい ま や ま び こ ほいほい
 ぼくらは風の子 まけるな ほいほい
 ぼくらは かげんた のきえ のだる なわこ のしよいゆ のだに
 しろいは ぼうしに しろいシャ ツ
 しもは かながみやき おかまわ ちり
 ポプラ なみそろ え て 一 二 一 二
 あさわつて にかえろよ 一 二 一 二

つぎのがつそを かけ足の歌に合わせてみましょう。

2
 4
 ダンプリシ
 たいこ
 トライアングル
 カスタネット
 (拍子木)
 ダンプリシ
 トライアングル
 たいこ
 カスタネット 拍子木
 ダンプリシ

ほかのおもしろい楽器のくみ合わせを みなさんでかんがえて、えんそうしてごらんさい。

かけ足

- 一、北風 ほいほい まけるな ほいほい
ぼくらは風の子 なんのその。
白いぼうしに 白いしゃつ、
足なみそろえて 一二、一二。
- 二、北風 ほいほい ならんで ほいほい
ぼくらはげんきだ わっしょいだ。
しもはかがやく おかのみち、
あさひによびかけ 一二、一二。
- 三、北風 ほいほい 山びこ ほいほい
ぼくらはきたえる この冬に。
ポプラなみ木を ひとまわり、
まわってかえろよ 一二、一二。

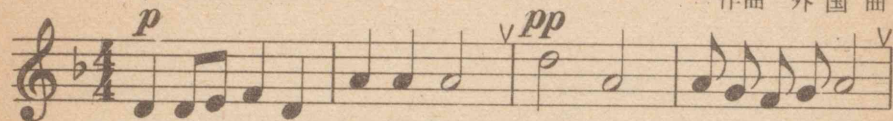
次のふしのつづきを作りましょう。

おしょう - がつは うれしい な

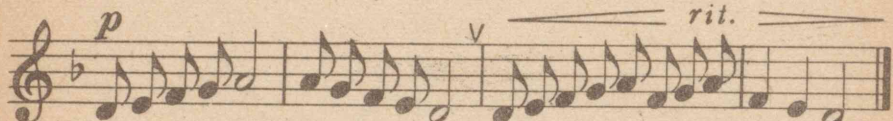
子もり歌

作詞 小松 清
作曲 外国 曲

しずかに ♩ = 88



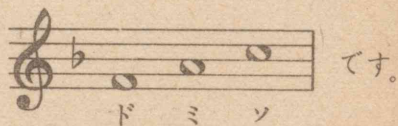
一 おや—ねの うえで ねん ねん ねん ころろん
二 おや—まの なかで ねん ねん ねん ころろん



ないてます はとのこが たのしいおゆめを みましよう
しろいはな ゆらゆらと いずみのほとりて ゆれる

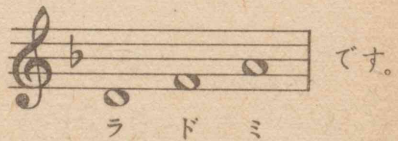
「子もり歌」のふしの はじめとおわりの音をしらべましょう。
そして「かけ足」のふしと くらべてみましょう。

「かけ足」のだいじな音は



です。

「子もり歌」のだいじな音は



です。

これらの曲の感じをくらべてみましょう。

子もり歌

一、 おやねの上で、ねんねん ねんころろん
ないてます、はどの子が、
たのしい おゆめを みましよう。

二、 おやまの中で、ねんねん ねんころろん
白い花、ゆらゆらと、
いずみのほとりて ゆれる。

次のふしを歌いましょう。
どんな歌詞がよくあいますか。



ト長調

へ長調もよく読めるようになりましたか。
 こんどはト長調のけいこをしましょう。

ト長調は どの音からはじまりますか。
 ト長調の音階は ピアノやオルガンで 白い鍵盤だけで
 ならせませうか。
 へ長調の時と同じように ハ長調をさんこうにして いろ
 いろしらべてみましょう。
 ト長調のしるしは どこに どんなのをつけますか。
 ふのけいこでは 前と同じように だいじな階名からはじ
 めましょう。

和音のれんしゅう(三)

ト長調

ト長調の和音のれんしゅうをしましょう。

1 ドミソの和音

2 ファラドの和音

3 ソシレの和音

くみ合わせ

1

2

3

4

このほかのくみ合わせをして 歌ってみましょう。
 上のくみ合わせを 書いてみましょう。じゅう線と 拍子
 記号の書き方に ちゅういしましょう。

あられのおどり

作詞 藪田義雄
作曲 外国曲

かるく ♩ = 160
mf

一 あ ら れ が お ど る よ ち い さ な お く つ て
二 あ ら れ の こ び と は よ こ っ ち の ぼ う し け
三 あ ら れ の お ど り は ひ か る よ き ら き

コン コロロ コン コロロ ぼっちゃん こんにち は
コン コロロ コン コロロ ぼっちゃん こんにち は
コン コロロ コン コロロ ぼっちゃん こんにち は

あられのおどり

一、 あられがおどるよ
小さなおくつで、
コンコロロ コンコロロ、
ぼっちゃん こんにちは。

二、 あられの小人は
よこっちょのぼうして、
コンコロロ コンコロロ、
ぼっちゃん こんにちは。

三、 あられのおどりは
光るよ きらきら、
コンコロロ コンコロロ
ぼっちゃん こんにちは。

「あられのおどり」の 一だんめは 次のかたちが 四つあつま
ってできています。

○の音ぶを 強く ○の音ぶを○より少しひかえめに強く 歌
いましょう。これはなぜでしょうか。

大だいこ

リズム楽器を使って がっそう曲を作りましょう。大だいこのと
ころは もう書きこんでありますから それに合うように ほか
の楽器(トライアングル タンブリン カスタネット 小だいこ
など)を入れてごらん下さい。

大だいこがないときには タンブリンを大だいこのかわりに使
ってもよろしい。

がっそう曲ができたなら あられの二部合唱に合わせて がっそう
してごらん下さい。合唱のほかにピアノやオルガンのふしを入れ
ると もっとおもしろくなります。

次のふを 階名で歌ってみましょう。
歌詞をつけて歌って みましょう。

雪どけ

のどかに ♩ = 84

作詞 村野四郎
作曲 野村 茂

mp

一 おやねのゆきが とけはじめ
二 まいにちとける ののゆきが

のきばの と い に お と た て る
み ず た に か わ に お と た て る

mf

ゆきどけみずが タンタラタララン
ゆきどけみずが タンタラタララン

vmp

あ れ は た う の し い は る の う た た
あ れ は た う の し い は る の う た た

二、 毎日とける 野の雪が、
水田に 川に おとたてる。
雪どけ水が タンタラ
タララン

あれはたのしい 春のうた。
あれはうれしい 春のうた。

一、 おやねのゆきが とけはじめ
のきばのどいにおとたてる。
雪どけ水が タンタラ
タララン

雪どけ

赤いもも 白いもも

たのしく ♩ = 100

作詞 藪田義雄
作曲 アメリカ曲

mf

一 あか いもも さいた ひなたはぬくいよ
二 あ おいみず チョロロ ひかげへにげたよ
三 あか いもも さいた かわずがないたよ

し ろ いもも さいた おどれおどれ
あ おいそら みてた わらってみ
し ろ いもも さいた めじろとん

三、 赤いもも さいいた、
かわすがないたよ。
白いもも さいいた、
めじろ とんだ。

二、 青い水 チョロロ、
ひかげへにげたよ。
青い空 みてた、
わらって みてた。

一、 赤いもも さいいた、
ひなたはぬくいよ。
白いもも さいいた、
おどれ、おどれ。

赤いもも 白いもも

次のふしを歌いましょう。 また歌詞もつけましょう。



チェロ



ハープ

小音403

私たちの音楽 4

Approved by Ministry of Education
(Date Oct. 15, 1949)

本書を編修するに当っては、下記の諸先生に一方ならぬ御指導とお力添えをいただきました。厚く感謝申し上げます。

芸術院会員	信時 潔	東京都江古田小学校長	中野義見
東京音楽学校教授	片山頼太郎	東京都早稲田小学校教諭	平岡均之
詩人	藪田義雄	東京都小川小学校教諭	山本 栄

編者 東京都文京区大塚窪町24 東京高等師範学校附属小学校内

財団法人 教育図書研究会

理事長 東京高等師範学校教授 佐藤保太郎
担当編修者 東京高等師範学校教諭 川本久雄

表紙 さしえ

小林つや 江
大槻 雄
木 侯 武

昭和24. 7. 18. 印刷	昭和24. 10. 15. 再版印刷
昭和24. 7. 22. 発行	昭和24. 10. 19. 再版発行
著者 財団法人 教育図書研究会 会長 務台理作	
発行者 学校図書株式会社 代表者 川口芳太郎 ¥	
印刷者 図書印刷株式会社 代表者 川口芳太郎	
発行所 東京都港区芝三田豊岡町8	学校図書株式会社

さくいん

読ふ	6	9	23	35	36	38	発声発音	6	9	11	12	21	24
	41	45	55	59	61	63		35	41	42			

作詞	7	23	32	36	41	45	作曲	9	23	37	39	40	53
	55	59	61					62	63				

リズム 6 18 25 44 59

楽典		和音		音ぶと休ふ	22
音階				拍子	25
ハ長調	8	ハ長調	19		
ヘ長調	33	ヘ長調	39		
短音階	54	ト長調	57		
ト長調	56				

いろいろのしるし		その他	
ト音記号	10	小節	10
調子記号	10	じゆう線	10
拍子記号	10	ふくじゆう線	10
		加線	10

器楽			
ならしかたの説明	えんそう	くみ合わせのくふう	
木きん	5	木きん	6 10
ハモニカ	17		15 23
笛	29	ハモニカ	18 23
		笛	32 35

がつそう			
せいくらべ	12	ジープが走る	28
木きんと	23	いろいろな楽器	45
ハモニカ		か	け 足

かんしょう			
ハイドンの「おもちゃの交響曲」	51	短音階の曲の感じ	54

え表紙		音楽家	楽器の図	えんそう
とびら	1	ハイドン	51	木きん
合唱	2 3			5
笛ふきの少年	4			ハモニカ
さしえ	7 9 16			17
	24 26 43			29
				ハープ
				64
				管楽器
				のえんそう
				30

Copyright 1949, by
The Kyōiku Toshō Kenkyukai

All rights reserved

The text of this publication or any part thereof
may not be reproduced in any manner whatsoever
without permission in writing from the authors



なまえ	
	四年
	組

広島大学図書

0130449911

